

海区便り

V o l . 6 6

はじめに

◎第309回(第20期第18回)隠岐海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

出席委員：葛西、吉田、前田、矢田、濱田、亀谷、長府、安部委員

欠席委員：田中、升谷委員

開催日時：平成28年6月16日(木) 14:10~15:30

開催場所：隠岐郡隠岐の島町港町 JFしまね西郷支所3階会議室

議題

1. 島根県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更について(諮問)

「ずわいがに」、「まさば及びごまさば」の平成28年漁期のTAC(漁獲可能量)が国から示されました。国の基本計画変更に合わせて、島根県の計画も変更するために、知事から隠岐海区漁業調整委員会へ諮問されました。以下、報告された変更点です。

【知事管理量の設定】

平成27年漁期 (単位：トン)		
第一種特定海洋生物資源の種類	管理の対象となる期間	知事管理量
まあじ	平成27年1月から12月まで	46,000
まいわし	平成27年1月から12月まで	57,000
まさば及びごまさば	平成27年7月から平成28年6月まで	29,000
するめいか	平成27年4月から平成28年3月まで	若干
ずわいがに	平成27年7月から平成28年6月まで	若干

平成28年漁期 (単位：トン)		
第一種特定海洋生物資源の種類	管理の対象となる期間	知事管理量
まあじ	平成28年1月から12月まで	43,000
まいわし	平成28年1月から12月まで	66,000
まさば及びごまさば	平成28年7月から平成29年6月まで	26,000
するめいか	平成28年4月から平成29年3月まで	若干
ずわいがに	平成28年7月から平成29年6月まで	若干

【中型まき網漁業への知事管理量の設定】

平成27年漁期 (単位：トン)		
第一種特定海洋生物資源の種類	採捕の種類	知事管理量
まあじ	中型まき網漁業	44,000
まいわし	中型まき網漁業	56,000
まさば及びごまさば	中型まき網漁業	28,000

平成28年漁期 (単位：トン)		
第一種特定海洋生物資源の種類	採捕の種類	知事管理量
まあじ	中型まき網漁業	41,000
まいわし	中型まき網漁業	65,000
まさば及びごまさば	中型まき網漁業	25,000

《審議の結果》この諮問について、原案のとおりで異議なしの答申をすることとなりました。

2. 太平洋クロマグロの資源管理・試行的TACについて(報告)

平成27年1月から開始されているクロマグロ小型魚(30kg未満)の漁獲規制の第1管理期間が平成28年6月末で終わりを迎えます。続く第2管理期間へ移行するにあたり、水産庁より『くろまぐろ型TAC』による数量管理を試行的に開始する方針が示されました。

今回はその内容について、事務局より以下の説明がありました。

【くろまぐろ型TAC(試行)について】

○現行の6ブロック別の管理を基本としつつ、別途、定置を全国枠で管理する『定置共同管理の枠組』を新設。

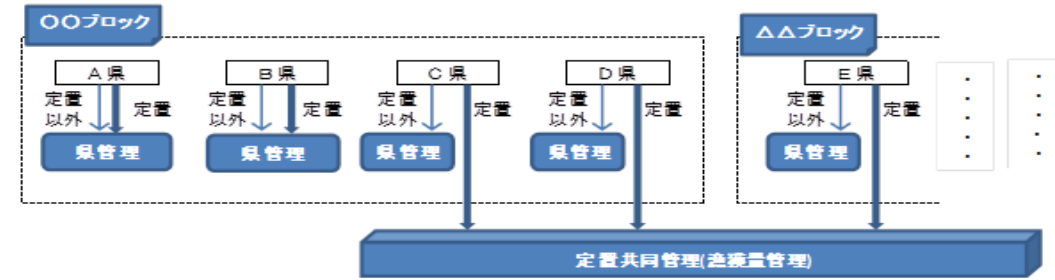
○くろまぐろ型TACは平成28年7月から始まる第2管理期間から試行開始。

○試行のため罰則なし。

～『定置共同管理の枠組』とは～

- ・漁場集中による漁獲の偏りや混獲等の定置の特性に対応するため、全国規模にて管理する枠組を構築。
- ・参加する各県は自県の漁獲管理目安のうち、定置分を定置共同管理の枠に拠出する制度。
- ・ただし、参加の可否は各県の判断による。

(定置共同管理のイメージ図)



○定置共同管理については、管理方法の詳細が決まっていないこと、また、島根県の定置の場合、管理期間の後半に盛漁期(4~6月)を迎えるため、より制限を受けやすい可能性がある等の理由から第2管理期間については「不参加」としました。

3. 平成27年の漁業生産の状況について(報告)

島根県全体の平成27年の島根県の漁業生産状況について説明がありました。概要は以下のとおりです。

- ・平成27年の島根県(属人)の総漁獲量は12万1千トン(平年比93%)、総生産額は192億円(平年比101%) (図1、2)。
- ・前年(平成26年)と比べると、総漁獲量で4千トンの増加、総生産額では2億9千万円の減少。
- ・漁獲量については、マアジやブリの漁獲は減少したが、マイワシは増加。
- ・生産額の減少は、主にまき網でマアジ、ブリ等の比較的単価の高い魚種の減少が大きかった事に起因。
- ・漁業種類別でみると、漁獲量ではまき網が全体の8割を占め、漁業生産額ではまき網が全体の40%、定置網が12%、沖合底びき網2そう曳きが11%、小型底びき網1種が10%となった。
- ・魚種別でみると、漁獲量の上位5魚種はマイワシ(3万2千トン)、マアジ(2万5千トン)、サバ類(1万7千トン)、ブリ(1万1千トン)、カタクチイワシ(7千トン) (図3)。これらのうち、マイワシは漁獲量が平年を大きく上回り(平年比175%)、サバ類(同103%)、ブリ(同83%)は平年並み。マアジ(同73%)、カタクチイワシ(同52%)、ウルメイワシ(同46%)は平年を下回った。

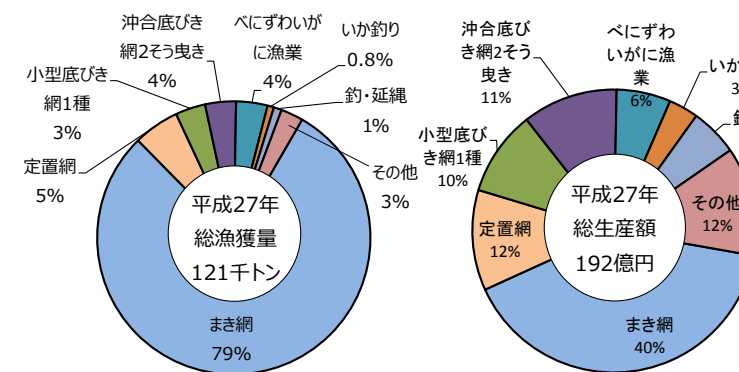


図1 平成27年の島根県の総漁獲量の漁業種類別

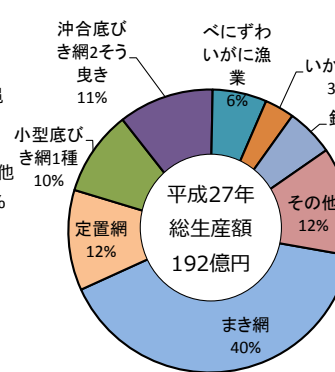


図2 平成27年の島根県の総生産額の漁業種類別

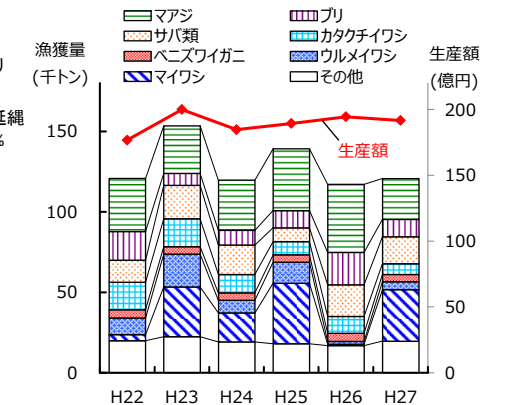


図3 島根県の総漁獲量・金額の推移

連絡先
 隠岐支庁水産局内
 隠岐海区漁業調整委員会事務局
 Tel: 08512-2-9669
 Fax: 08512-2-9674